

大規模土砂災害を想定した魚津市との合同防災訓練

- ・日 時：平成29年11月30日（木） 9：30～12：00
- ・場 所：片貝公民館（旧片貝小学校） 魚津市島尻818
- ・参加機関：国土交通省北陸地方整備局立山砂防事務所、富山県、魚津市、TJSSE（立山・神通砂防スペシャルエンジニア）、片貝地区

訓練の目的

近年発生したH28熊本地震災害やH29九州北部豪雨災害等の大規模土砂災害の多発や、それらに伴う国・県・市の対応状況と連携状況を踏まえ、

①土砂災害防止法、災害対策基本法に基づく各機関の対応

②大規模土砂災害を含む土砂災害発生時の各機関の連携

を確認することを目的とした訓練を実施します。

訓練は、国土交通省立山砂防事務所・富山県・魚津市等の各防災担当者及び片貝地区住民代表が一堂に会して行い、土砂災害発生前から大規模土砂災害の発生、住民避難までの一連の流れを想定した学習型の合同防災訓練に取り組みます。

タイムスケジュール

受付	9:00	～	9:30
開会	9:30	～	9:35
訓練の進め方確認等	9:35	～	9:45
学習型訓練	9:45	～	11:25
講評	11:25	～	11:55
閉会	11:55	～	12:00



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 立山砂防事務所
 調査課長 高橋 至
 電話 076-482-1111（代表）
 FAX 076-482-1101



訓練シナリオ

大規模土砂災害発災時の関係機関の連携事項、各機関が実施する災害対応の内容等を、学習型訓練によって確認します。

学習型訓練のステージ設定

ステージ0：上空に強い寒気を伴った低気圧による豪雨を踏まえた警戒体制の構築

ステージ1：同時多発的な土砂災害発生時の対応

ステージ2：土砂災害防止法に基づく河道閉塞への対応

ステージ3：応急対策工事の進展等に伴う避難解除

学習型訓練とは

必要に応じて状況付与を行った上で、「進行者」が対応について質問し、これに「訓練参加者」が回答する形式で進行する。このように、逐次対応する形で行うので、実時刻に基づいた進行とはならない。

進行者

訓練参加の各組織をひとつの災害対策本部、もしくは災害対策支部と見立て、それぞれに質問する。



「〇〇で大規模な崩壊が発生し、△△の状態になっている。」との報告が入りました。あなた方の組織では、どのような行動をとりますか？

回答者を特定して当てることはしない。あくまでも訓練参加組織に対して質問し、組織として回答する。

訓練参加者

質問内容に応じて、訓練参加組織内での回答者を決め、発表を行う。



私たちの組織では、〇〇を第一に考え、□□を行います。

質問

回答

回答者は与えられた設問に対して、その場で考え、すぐに回答する（周囲から助言をしても良い）

訓練想定

気象の状況

上空に強い寒気を伴った低気圧による**豪雨**

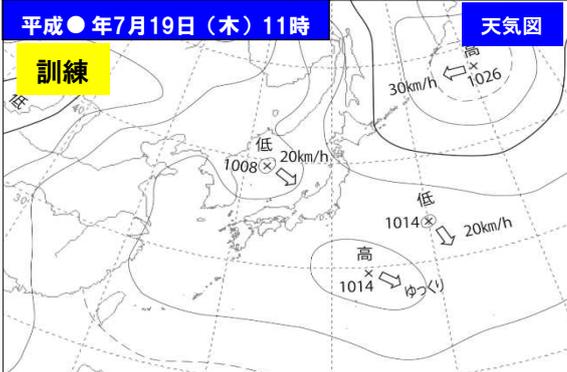
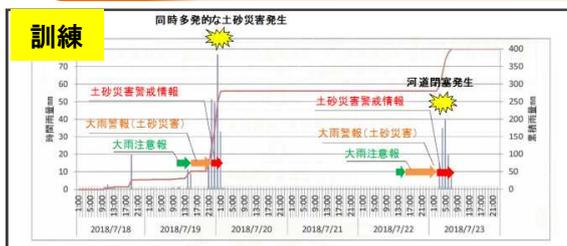
災害の状況

豪雨に伴う**同時多発的な土砂災害の発生**

- 土砂災害による家屋被害の発生・人的被害のおそれ
- 降雨ピーク頃の発生を想定

深層崩壊による**河道閉塞（天然ダム）**の形成

- 河道閉塞（天然ダム）の越流・決壊（土石流発生）による家屋被害発生のおそれ
- 2回目の降雨ピークが過ぎた頃の発生を想定



※魚津市内の危険箇所を示す土砂災害ハザードマップは、平成29年度中に魚津市より配布する予定です。